

競技注意事項

- 開催日時 平成28年10月8日(土) 競技開始 9:00
- 会場 Shonan BMW スタジアム平塚
- 規則 2016年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
- 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は8時30分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届ける。

- 練習
 - 競技場周辺及び雨天走路を使用する。本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - 投擲、跳躍練習は審判の指示に従って競技場内で行うこと。
 - 公式練習：走高跳は、バーをつけずに助走練習と男子1m55、女子1m30の高さで1回の練習を認める。(四種男子は1m40、女子は1m20)
 - 棒高跳は同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは2m90、3m50、4m00から選択する。
 - 競技者以外の練習は認めない。

6. 招集

招集時間	トラック	競技開始40分～20分前まで
	走幅跳、走高跳、砲丸投	競技開始60分～40分前まで
	棒高跳	競技開始90分～60分前まで

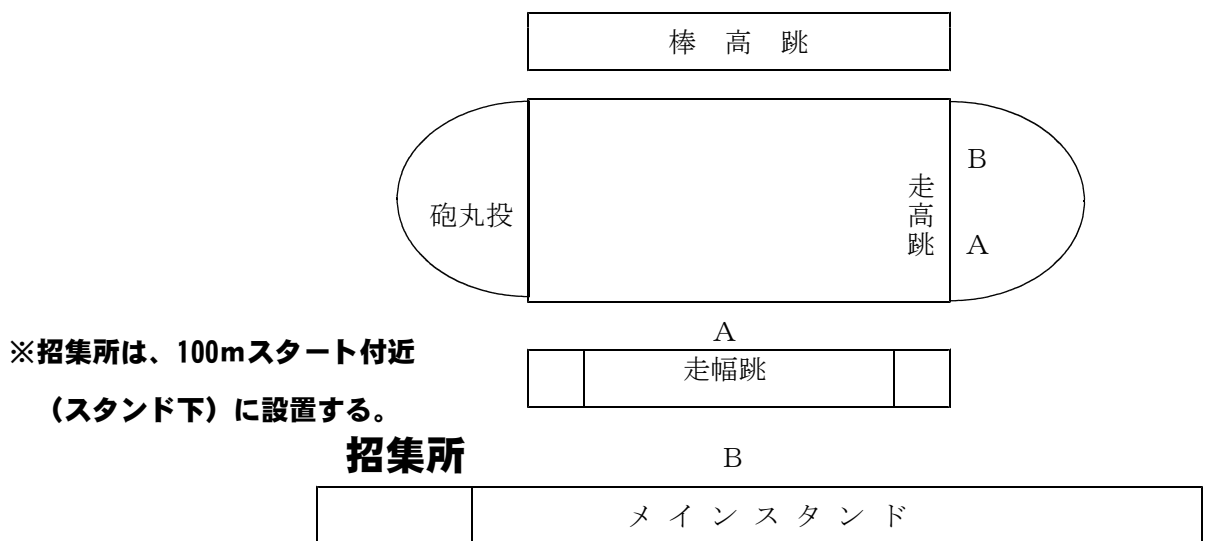
- トラック種目については、競技開始10分前までにスタート地点に集合し、出発係の指示に従う。
 - 招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - 招集所での受付は本人が必ず行うこと。このときナンバーカードとスパイクの確認を行う。(ピンの長さはトラック競技他9mm以下、走高跳12mm以下)
 - 四種競技に参加する競技者は最初の種目を一般の種目と同様に行い、2種目目、3種目目については現地(ピット)で行う。なお、最終種目においては、招集をおこない。レーン確認と腰ナンバーを受け取る。
- リレー
 - 予選のオーダー用紙提出は競技開始2時間前から1時間前までに招集所へ提出する。
 - 決勝のオーダー用紙提出は15時20分から15時50分までとする。
 - 競技者はスタート20分前までに各スタート地点に集合する。
 - ナンバーカード
 - 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または、胸につけるだけでもよい。
 - 白のB5版の大きさの布に、男子黒、女子赤字で記入する。高さ12cm、幅5cm以上、飾り文字は使用しない。
 - トラック種目・リレーのアンカーは右腰に招集所で受け取った腰ナンバーをつける。
 - 計測
 - トラック：電気計時の場合はすべての競技者のタイムを計測する。中長距離種目は競技進行上、制限タイムを設け、下記の時間を超えた場合はただちに競技を終了する。

	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	

- フィールド計測ライン

走幅跳	男子5m50	女子4m50
砲丸投	男子10m00	女子9m50
棒高跳	3m00より開始	以後10cm 4m00 以後5cm
走高跳		
男子	練(1m55) - 1m60 - 1m65 - 1m70 - 1m75	以後3cm
女子	練(1m30) - 1m35 - 1m40 - 1m45 - 1m50	以後3cm
四種男子	練(1m40) - 1m45 - 1m50 - 1m55 - 1m60	以後3cm
四種女子	練(1m20) - 1m25 - 1m30 - 1m35 - 1m40	以後3cm

- 10. スタートについて
 - ・800mの予選については1レーンをあけオープンスタートでおこなう。
 - ・3000mの予選については2段スタートでおこなう。
- 11. 予選通過トラック
 - ・電気計時：すべての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。同タイムの場合、写真を拡大し細部まで読みとり決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。
 - ・手動計時：同タイムだった場合、着順を優先し、それでも決定できない場合は抽選とする。
 - ・100m・200m・400m・800mは8名で決勝を行う。1500mは15名、3000mは18名で決勝を行う。
- フィールド
 - ・走幅跳・砲丸投は3回の試技を行い、上位8名はさらに3回の試技ができる。
- 12. 表彰
 - ・各種目3位までにメダル、8位までに賞状を授与する。当該者は正式通告があった後、ただちに本部表彰係まで受け取りにくること。
- 13. 応援
 - ・応援・付き添いは、フィールド内や競技場に入ってはならない。
 - ・スタート時の応援は禁止する。
 - ・応援席最前列の手すり付近の応援は禁止する。
- 14. 開閉会式
 - ・開会式8：30、スタンドにておこなう。
 - ・閉会式は競技終了後、ホームストレートにて整列しておこなう。
- 15. その他
 - ①競技場の利用のしかた
 - ・競技者は指示された場所・通路を使用し、フィールド内や立入禁止区域には絶対に入らない。(通路や更衣室等に荷物を置かない)
 - ・開門前には競技場には入らない。整列して待つ。
 - ②競技について
 - ・フィールドの各ピット(A・B)は下記の通りとする。
 - ・トラック競技のスタート合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。
 - ・フィールド競技の助言は、コーチングボックスよりおこなう。
 - ③競技者の控え場所
 - ・スタンドを利用し、所持品は各自責任を持って管理する。
 - ・更衣室は更衣のみに使用する。
 - ④決勝進出で抽選が必要な場合、アナウンスをよく聞き速やかに番組編成に集合する。
 - ⑤ゴミは各自持ちかえりとする。
 - ⑥中学生競技者としてのマナーを守ること。(顧問打ち合わせ内容厳守)



招集所